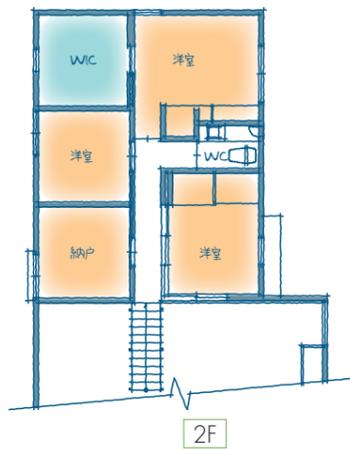
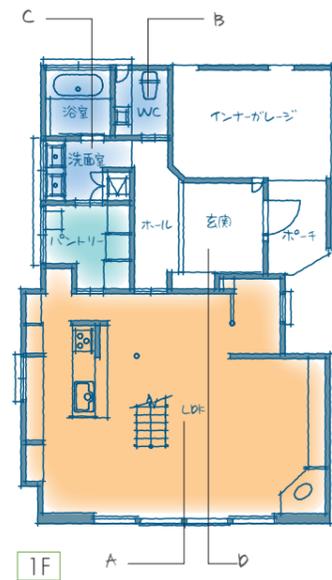




開放感のあるストリップ階段は、鉄と木を合わせたオリジナルデザイン。空間に合うようシンプルにデザインした。



DATA

敷地面積	241.60㎡
1階床面積	85.99㎡
2階床面積	54.65㎡
延床面積	140.64㎡ (42.54坪)

床には無垢のナラ材。  
階上までのぼる傾斜天井には赤松の格子。  
開放感あふれる空間は、愛着ある家具を引き立てる。  
さながらギャラリーのよう。

こだわりのある  
家具と暮らす



外壁には黒く塗装した杉板を貼り、存在感のある外観とした。



いごいち  
CASE 06

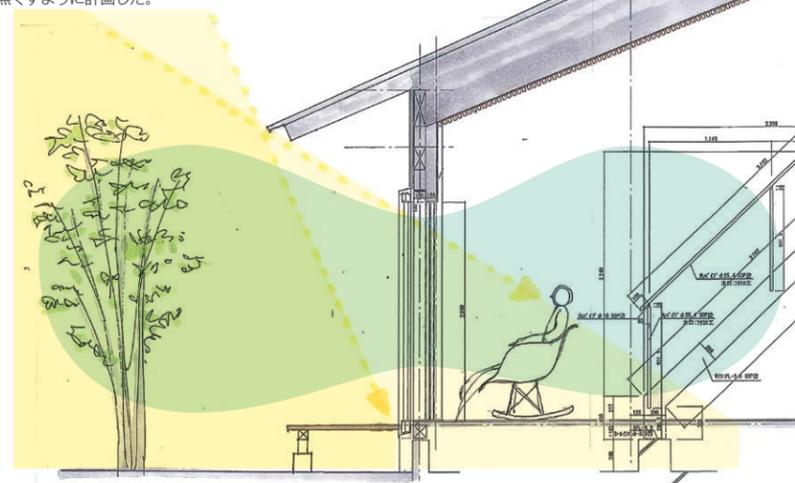
完成したお家の最新情報やお客様のこだわりを紹介する「いごいち」。今回は神戸市西区のお住まいをご紹介します。



光と影が織りなす  
ゆるやかな時間



デッキへとつながる開口部は、化粧柱でサッシの存在感を無くすように計画した。



四季を通じて変化する陽射しの角度で軒の深さを定めた。

大事なものは「つながる」こと

建具は、住宅にとってなくてはならないもの。雨風や暑さ、寒さをしのごくだけではなく空間と空間を間仕切るといふ役割があります。しかし解放している時にはできるだけその存在が消える方がいい。ある晴れた気持ちの良い日には内と外が違和感なくつながるような…。



建具を閉めればゲストルームとしても使えるフレキシブルなフリースペース。

PICK UP CHAIR

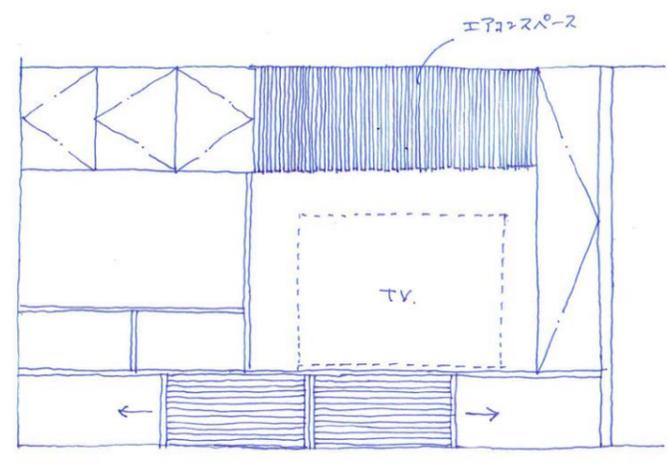


↑左：スワン (アルネ・ヤコブセン)  
 右：エッグチェア (アルネ・ヤコブセン)  
 \、手前：シェルサイドチェア (チャールズ&レイ・イームズ)  
 奥：アントチェア (アルネ・ヤコブセン)  
 ←左：パレットチェア (ハンス・J・ウェグナー)  
 右：スワンソファ (アルネ・ヤコブセン)



北歐で生まれた照明  
 ここちらい「あかり」

北歐では、数多くのすぐれたデザインの照明器具が生まれている。一年の約半分は太陽のない生活を過ごす北歐の人にとって「あかり」は最も大切なもののひとつ。長い冬を快適に過ごす為に「機能性」や「デザイン性」とともに「心地よさ」をそこに求めるという。



TV台、エアコンスペースは造り付けて壁面に すっきりと納めた。



愛着のある北歐家具が活かされ、また調和する空間として、素材の持ち味を活かした使い方と無駄のないシンプルなデザインにこだわりました。遠く離れた国のモノなのに、家具やインテリア小物が不思議と空間に馴染み、どこか懐かしささえ感じます。幾何学的な図形、素材感、「和に通じるモノ」があるからなのかもしれません。

北歐家具が  
 馴染む住まい

